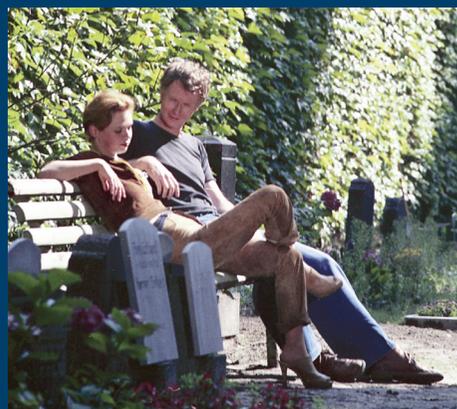


喜劇映画からサーカス物語、サスペンスや反ナチ映画、メルヘンやインディアン映画、ミュージカルや戦後の復興映画、古典及び現代文学の映画化、更にスパイ映画、集団農場を題材とする作品から空想映画に至るまで——東ドイツの映画株式会社「デーファ」は、それら全てのジャンルを47年間に亘って製作し続けた。この大事典ではデーファ劇映画の全貌について詳しい情報を得ることが出来る！



この改訂された新刊上下巻はデーファ社が製作した劇映画全作品を記録——上層部にとって都合な作品も不都合な作品も、検閲で禁止された映画も許可された映画も、良作も凡作も、バーベルスベルクの社会主義的映像工場で作られた全ジャンルの劇映画を網羅する。各作品については、スタッフ・キャスト、あらすじ、批評、反響等の多岐にわたる情報を記すと共に、1000枚に及ぶ貴重なスチール写真を載せている。

大幅に拡大され、初めて写真を豊富に掲載した当デーファ劇映画大事典は、デーファ財団との緊密な連携作業によって実現した。本書には、デーファ社47年の映画製作の歴史で生まれた劇映画——製作中止と



なった作品、国家権力の意に染まらない作品、劇場公開されなかった作品を含む——全作品に関する包括的かつ詳細な情報を提供する。



著者 F. B. ハーベル (HABEL)

ベルリンのプレントラウアー・ベルク区で生まれ育ち、1960年代から映画館に通い始める。しばらくドイツテレビ放送DFPで働いた後、東ドイツ国立映画アーカイブに転職。1980年代にはポツダム市バーベルスベルクの映画TV大学で映画史を学ぶ。

1970年代末からハーベルは映画関連書の執筆と映画評論に携わる。1980年代より『シネ・グラフ』映画事典の編纂を手伝い、1995年以降、ベルリンの出版社シュヴァルトツコップ&シュヴァルトツコップで映画についての著書8冊を上梓——『Die Olsenbande (オルセン強盗団)』『Ekel Alfred (意地悪アルフレート)』『Gojko Mitic, Mustangs, Marterpfähle (ゴイコ・ミティチ、ムスタング馬の群、拷問柱)』『Lexikon der DDR-Stars (デーファ映画スター事典)』等がある。ハーベルによる個別の論文は、これまで英語とイタリア語に翻訳されている。また、ハーベルは国内外の様々な教育機関に招かれて講演を行う。2003年からベルリン映画TV協会副会長、2019年から同会長、更に2023年からはベルリン・ブランデンブルク映画奨励協会副会長を務める。

監訳者 山根恵子 (Keiko Yamane)

法政大学名誉教授。フランクフルト大学文学博士。『Das japanische Kino』(著書)、『Kという名の婦人たち』(訳書)他。2017年デーファ映画賞受賞

DEFA デーファ劇映画大事典
東ドイツ製作劇映画の全記録 1946～1993年
上下巻セット 定価 29,700円 (税込) 【分売不可】

ご注文は下記へお問い合わせください。

鳥影社 販売部 電話 03-5948-6470 FAX 0120-586-771

ウェブストア <https://choeisha.stores.jp/>

株式会社鳥影社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 3-5-12 www.choeisha.com